

平成29年度（2017年）

高校生の基礎学力の定着に向けた学習改善のための調査研究事業

滋賀県教育委員会（文部科学省指定事業）

滋賀県立  
玉川  
高等学校

教育目標：人間性豊かで社会に貢献できる人材の育成を目指し、明るい学園づくりに努める。  
重点目標：知育・徳育・体育の調和のとれた人間教育  
○学力の向上と希望する進路の実現 ○規範意識や人権意識の育成 ○部活動の活性化  
「大切にする”指導”」／「協議・協力・協調」



成果

反映

【調査研究の視点①：学校教育活動全体を通じた“大学や社会につながる学び”の実現】

- ◎知識だけでなく、学ぶ方法や姿勢を身につけることができる場所
- ◎答えを引き出すだけでなく、考えを引き出す授業が行われている場所
- ◎「知る・覚える」だけでなく、「理解する・考える」授業を受けられる場所

学校を、  
「主体的・対話的で  
深い学び」の場に

＜学習指導・学力向上の取組＞

- Plan**
- 学ぶ意欲の向上と確かな学力の育成を実現するための教育ビジョンの策定
  - アクティブラーニング型授業の調査・研究
  - 生徒一人ひとりの自己実現に向けた指導の計画
  - 基礎学力の定着度や学習状況等の把握のための計画 等

- Do**
- 「主体的・対話的で深い学び」の研究・実践
  - アクティブラーニング型授業の実践・充実
  - 評価問題の研究・実施
  - ICT活用の拡大・充実
  - 教員間で学び合う校内体制の強化
  - 授業研究会等の実施・充実 等

- Action**
- 調査研究事業検討会議での指導助言
  - 先進校視察を踏まえた指導改善の検討
  - 教員研修会等の企画・充実
  - 教育課程、指導体制の改善
  - 教材、評価問題の改善
  - シラバス、評価指標等の改善 等

- Check**
- 高校基礎学力テスト（仮称）の試行テストの実施・活用
  - 評価問題の分析・活用
  - 教材等の研究・分析
  - 生徒質問紙調査や学力向上アンケートの実施・分析
  - 検定試験や外部試験等の実施・活用 等

- ・外部試験および大学等のアドミッションポリシーの分析・活用  
・生徒への指導・支援および情報提供の充実・発展  
・高大連携の活用・促進 等

- ・学校行事や部活動等を通じた豊かな心とたくましい心身、主体性・協働性の育成  
・主体的な生徒会活動の推進  
・安心・安全な学習環境づくり 等

＜キャリア教育・進路指導＞

＜人権教育・生活指導＞

【調査研究の視点②：明確な教育ビジョンに基づいた組織的で継続的な取組の推進】

取組の3つのカテゴリ ↓	～2015 PRE-STAGE	2016 STAGE 1	2017 STAGE 2	2018 STAGE 3	2019～ POST-STAGE
授業、 学習活動	○AL型授業の定着・発展 ○ICT活用の充実 ○公開授業研究会の充実・定着 ○生徒質問紙調査の分析・活用 など				
評価、 考査問題等	○基礎学力テストの活用 ○評価問題の研究・充実 ○評価方法の研究 ○シラバスや評価指標の活用 など				
校内体制、 外部との連携等	○ビジョン共有 ○校内委員会の開催 ○研修の実施 ○外部講師の招へい ○校内各課・学年間の連携 など				

連携・協働

指導・支援

家庭、地域社会、大学等

県教育委員会、外部有識者等



# 滋賀県モデル「CAN-DOリスト」

レベル	「聞くこと」	「話すこと」	「読むこと」	「書くこと」
12	標準的な速さの講義や討論を聞いて、未知の語の意味を推測したり背景となる知識を活用したりしながら、概要や要点をとらえ、話し手の意図を理解することができる。	社会性の高い事柄について、即興で、自分の意見を理由とともに述べたり、議論したりすることができる。	社会性の高いテーマを扱った物語や説明文を、140 WPM程度で読み進め、読み取った事実や情報の論理的な関係を理解し、文章の詳細を理解したり筆者の意図をくみ取ったりすることができる。	社会性の高い多様な考えができる話題について、自分の立場をはっきりさせて、効果的な論理的構成と適切な表現で、読み手を説得したり、主題を決めてさまざまな種類の文章を書くことができる。
11	標準的な速さの様々な話題に関する説明や報告を聞いて、概要や要点を整理しながら理解することができる。	身近な社会的な事柄について、アウトラインを書いたメモに基づき、自分の意見を理由とともに述べたり、質疑応答したりすることができる。	社会性の高いテーマを扱った物語や説明文を、130 WPM程度で読み進め、概要や要点をとらえたり、目的に応じた読み方をしたりすることができる。	社会性の高い話題について、調査したことに基づき、論点や根拠を明確にしながら、まとまりのある論理的な文章で論じることができる。
10	はっきりとした発音で話されれば、身近な話題に関する説明や意見、物語を聞いて、必要な情報を取捨選択しながら、内容を把握することができる。	興味・関心のある事柄について、読んだり経験したりしたことに基づき、意見交換したり質疑応答したりすることができる。	比較的社会性の高いテーマを扱った物語や説明文を、120 WPM程度で読み進め、概要や要点をとらえたり、目的に応じた読み方をしたりすることができる。	日常生活の様々な話題に関する報告や評論などについて、その概要や要点、自分の考えや気持ちをまとまりのある論理的な文章で報告することができる。
9	はっきりとした発音で話されれば、身近な話題に関する説明や意見、物語を聞いて、概要や要点をとらえることができる。	興味・関心のある話題について、即興で、自分の意見を述べたり、意見交換したりすることができる。	比較的社会性の高いテーマを扱った物語や説明文を、110 WPM程度で読み進め、必要な情報を読み取ったり概要や要点をとらえたりすることができる。	日常生活の様々な話題に関する報告や随筆などについて、その概要や要点、自分の考えや気持ちをある程度まとまりのある文章で説明することができる。
8	ゆっくりはっきりと話されれば、短い説明や指示を一度聞いただけで、設定された場面に応じて内容を理解して行動することができる。	身近な暮らしにかかわる事柄について、平易な語句や表現を用いて、簡単なやりとりをすることができる。	身近な暮らしにかかわる事柄に関するまとまりのある説明や物語を、絵や写真、注釈を参考にせずに100 WPM程度で読み進め、必要な情報を読み取ったり概要や要点をとらえたりすることができる。	興味・関心のある話題に関する説明や物語などについて、その概要や要点、自分の考えや気持ちをまとまりのある文章で説明することができる。
7	ゆっくりはっきりと話されれば、興味・関心のある事柄や身近な話題に関する短い話を一度聞いただけで、その内容を理解することができる。	家族や友人、自分の紹介や趣味などの身近な事柄について、基本的な語句や表現を用いて説明したり質疑応答したりすることができる。	身近な暮らしにかかわる事柄に関するまとまりのある説明や物語を、絵や写真、注釈などを参考にしながら80 WPM程度の速度で読み進め、概要や要点をとらえることができる。	日常生活の様々な話題に関する紹介文や対話文などについて、その概要や要点、自分の考えや気持ちをまとまりのある文章で書くことができる。
6	繰り返し、ゆっくりはっきりと話されれば、一連の指示を理解して行動したり、直接体験していない行事や習慣などの内容を理解したりすることができる。	身近な暮らしにかかわる事柄について、アウトラインや大切なポイントを書いたメモに基づいて、基本的な語句を用いてスピーチをしたり、会話をしたりすることができる。	平易なまとまりのある文章を、絵や写真、注釈などを参考にせずに50 WPMの速度で読み進め、文章の詳細を理解することができる。	身近な暮らしにかかわる場面での出来事や体験したことなどについて、自分の考えや気持ちを、読み手に正しく伝わるように短い文章で書くことができる。
5	繰り返し、ゆっくりはっきりと話されれば、自分や家族、学校、地域など、身の回りに関する簡単な内容を理解することができる。	身近な暮らしにかかわる事柄について、質問に答え、その理由を1文以上付け加えて述べるることができる。	平易なまとまりのある文章を、日本語の注釈を参考にしながら読んで文章の詳細を理解することができる。	接続詞などを用いて、身近な暮らしにかかわる場面での出来事や体験したことなどについて、つながりのある文章で書くことができる。
4	繰り返しや言い換えを交えて、ゆっくりはっきりと話されれば、簡単な説明や一連の指示を視覚で確認しながら理解し、行動することができる。	身近な暮らしにかかわる事柄について、尋ねられた質問への答え以外に1文程度付け加えて、2人で各3発言程度の短い会話をすることができる。	平易なまとまりのある文章を、それに関する絵や写真を参考にしながら読んで、概要や要点をとらえることができる。	簡単な語句や基礎的な表現を用いて、身近な暮らしにかかわる場面での出来事や体験したことなどについて、短い文章で書くことができる。
3	繰り返しや言い換えを交えて、ゆっくりはっきりと話されれば、身近な暮らしにかかわる場面における具体的な内容などを理解することができる。	身近な暮らしにかかわる事柄について、2人で各2発言程度の短い会話をすることができる。	簡単な短い文章や対話文を、それに関する絵や写真を参考にしながら読んで理解することができる。	自分のことや身近な暮らしにかかわる事柄についての基本的な情報を、辞書や単語リストを使えば、短い文章で書くことができる。
2	本人に向かって、ゆっくりはっきりと話されれば、身近な話題に関する短い話を理解することができる。	基本的な語や表現を用いて、日常生活に必要な簡単な情報や話題について尋ねたり、答えたりすることができる。	身近な暮らしにかかわる事柄を表す簡単な文や対話文を、それに関する絵や写真を参考にしながら読んで理解することができる。	基本的な文の決まりに従って、自分のことや身近な暮らしにかかわる事柄について、2～4文程度の短い文で書くことができる。
1	本人に向かって、ゆっくりはっきりと話されれば、短い簡単な指示を理解したり、日常生活に必要な簡単な情報を聞き取ったりすることができる。	基本的な語や表現を用いて、あいさつや簡単な自己紹介をしたり、尋ねられた簡単な質問に対する正しい情報を相手に伝えたりすることができる。	アルファベットの大文字・小文字を理解することができる。身近な暮らしにかかわる単語について、実物やそれに関する絵や写真を参考にしながら読んで、その単語の意味を理解することができる。	アルファベットの大文字・小文字をブロック体で書くことができる。ゆっくりと発音されれば、日常生活の身近な単語や語句を聞き取って書くことができる。

<玉川高等学校 生徒の成長モデル>

目指す生徒像【

		基礎段階		応用段階		発展段階		各教科でのアプローチ							
生徒に付けたい力↓		共通指標	教科での具体化	共通指標	教科での具体化	共通指標	教科での具体化	国語	地歴 公民	数学	理科	保健 体育	芸術	外国語	家庭
知・技	<b>知識・技能</b>	1年次配当の科目における教科書レベルの重要事項を概ね理解している		2年次配当の科目における教科書レベルの重要事項を概ね理解している		3年次配当の科目における教科書レベルの重要事項を概ね理解している									
	<b>論理的思考力</b> : 様々な角度から考え、 分析し、深める力														
思考力・ 判断力・ 表現力	<b>公正公平な判断力</b> : 得た情報を的確に 理解し、ふさわしい 意思決定ができる力														
	<b>言語表現力</b> : 得た情報や自分の 考え・意見等を、明確 かつ適切に伝える力														
	<b>主体性</b> : 自律的・主体的に 粘り強く学ぶ態度や姿勢														
学びに 向かう 力・ 人間 性等	<b>協働する力</b> : 他者と協力し、成果や よりよい結果を出す力														

※「生徒に付けたい力」: 授業等の学習活動を通じて育成を図る資質・能力です。各教科での取組が、総合的・相乗効果的に生徒の資質・能力を向上させることを目指しています。  
 ※評価指標の活用: 生徒は「自分を振り返るツール」として活用する。 / 教職員は「自分の教育活動(教育効果)を振り返るツール」として活用するとともに、定期的に生徒の自己評価を確認する。